

自伝の 1 ページほど貴重な経験

Q1. 研修に参加して良かったと思うことは何ですか？

学問も言語力も自信をもらったことです。現地の授業では、自分が大学で勉強したことを考えながら答えて、達成感があり、自信がもられたことです。授業中に先生やプログラムアシスタントのケンブリッジ大学の法学部生（PA）と交流したり、質問をしたり、自分が話したいことを英語で表現することがどんどんできるようになりました。

学年やコースに関わらずたくさんの知り合いができたことです。参加してきた人はほぼ 2 年生であっても、3 年生や 4 年生もいらっちゃったから、ゼミの選択や就活の話とかたくさん話せました。1 ヶ月間は長くて短いといえる時間なんですけど、この間にみんな仲良くなり、いろんな思い出も作りました。

最後は、ずっと憧れていたイギリスの都市の観光もできたことです。週末は基本的に自由となり、ロンドンやエデンバラやオクスフォードなど都市へ観光に行ってきました。

Q2. 研修に参加したことで、どんな力がつきましたか？ どんな点が成長したと思いますか？

英語力は前より上達したと思います。直観的には TOEIC の点数も研修前より上がっていました。そして英語の発信力も上達しています。間違いを恐れず遠慮せずに話したいことを話せるようになりました。

そのほかは、予想外の状況に、柔軟に対応できるようになっていると思います。体調不良の方が多かったので、グループワークと模擬裁判（monk trail）の準備に多少影響を与えましたが、焦らずに前を向いて準備できました。

Q3. 研修に参加したことで、今後の学習面と将来のキャリアに関し、どんな気づきがありましたか？

キャリア面であれば、将来に英語と法律に関する仕事やグローバルに関わる仕事を希望しているから、エントリーシートを作ったり、面接の話を作ったりすることができるようになっています。

もちろん、「自分の将来はさらに可能性がある」という考えも出てきます。自分の将来について研修に行く前の考えを研修後に考え直したり、「自分の将来はさらにいくつ選択肢が考えられるかな」と思ったりすることがあります。迷うことではなく、自分の可能性を発見することです！

将来に欧米圏の大学院に進学することを考えている方にもおすすめです。サマースクールの履歴に書ける点だけではなく、前もって欧米諸国で主流である双方向型の授業の雰囲気を感じられると思います。

Q4. 研修中の一番の思い出は何ですか？

間違いなく模擬裁判（monk trail）です。

体調不良の方が多かったので、定番の模擬裁判（monk trail）は zoom で行うことに切り替えることになってしまったにも関わらず、面白い経験でした。

自分が検察側の反対尋問する弁護士役で、被告側の答えの論理の弱さを捉えて、反対尋問を通じて自分の側に有利な答えを取ることであり、英語でディベートのような経験で面白かったです。

Q5. 未来の参加者へのメッセージ（次年度以降の参加者に向けて、これだけは伝えたい！と思うことを先輩として、メッセージをお願いします。）

イギリスが好きだと思ってもいいし、英語力を向上したいと思ってもいいし、いずれかの理由で参加しても、人生において貴重な経験となります。学生時代の夏休みを有意義に過ごしたい方はぜひぜひ、学生時代のうち、一生忘れない思い出を作りましょう。

そして、授業中やグループディスカッションで遠慮せずに英語で自分の意見や質問を発言しましょう。文法や表現を間違っても大丈夫で、一歩出しましょう